

私は麻酔科専攻医として当院で後期研修を行っており現在 3 年目です。当院を後期研修先として選んだ理由は 3 つあり、①緊急手術を含めた手術件数が多く診療科も多岐にわたること、② 3 年間の後期研修プログラムの中で ICU 研修も含まれており、術中のみならず術後管理も学べること、③ 毎朝のカンファレンスで勉強会を行っており、様々な知識や経験談を聞くことができることです。

- ① 手術件数は年間約 12000 件、全身麻酔管理は年間約 6000 件あります。また当院は救急救命センターを併設する救急病院であるため緊急手術も多く、麻酔科管理の緊急手術は年間約 1100 件あります。小児外科以外のほぼ全ての診療科の手術を経験することができ、ダビンチ手術や TAVI、脳外科の血管内治療など様々な術中管理を学ぶことができます。私の場合は 1 年次に約 400 件の全身麻酔管理を行い、そのうち緊急手術の麻酔管理は約 100 件経験することができました。麻酔管理は上級医の指導のもとで行うため、手技のコツや術中管理についてその場で指導を受けることができます。
- ② 3 年間の後期研修期間のうち、私は 1 年次に 2 ヶ月、3 年次に 4 ヶ月 ICU 研修を行いました。心臓手術の術後管理を主に学び、時には自分で術中の麻酔管理をした患者さんを継続して ICU でも担当することがありました。術後管理を通して、術中の麻酔管理を再考することができ、大変勉強になりました。
- ③ 毎朝、勉強会を行っています。内容は、麻酔・集中治療のことはもちろん TEE や神経ブロック、症例のフィードバックなどがあり、麻酔科全員で知識や情報を共有しています。

現在、麻酔科専攻医は 14 名、スタッフを合わせると計 28 名おり、上級医からの指導はもちろん、同期とは日々の悩みや疑問点などを相談することができ、共に切磋琢磨しながら研修を行うことができます。

麻酔科を専門とする上で、初めの 3 年間で当院で研修することは非常に有意義であると感じています。